

# 平成29年(2017年)の主な気象災害(1)

期日・期間	現象名	気象概況	被害状況
1月14日～16日	大雪 降雪 または積雪	14日から16日にかけて、上空に強い寒気が流れ込み冬型の気圧配置が強まったため、北部では14日明け方から16日朝にかけて断続的に降雪が強まり大雪となった。	大雪によりスリップ事故が相次ぎ、14日朝から18日朝までの集計で112件発生した。交通機関ではJR姫新線、伯備線、津山線で積雪による倒木、踏切の障害物誤検知があり、因美線の美作加茂駅 - 智頭駅（鳥取県）間は終日運転取り止め（16～18日）になるなど、併せて運休65本、遅延90本が発生した。また、電力施設に樹木が接触し真庭市、美作市、美咲町で併せて2,670戸の停電が発生した。
1月22日～24日	大雪 降雪 または積雪	22日から24日にかけて、上空に強い寒気が流れ込み強い冬型の気圧配置となり、23日明け方から降雪が強まり、北部を中心に大雪となった。	22日から24日にかけての大雪により、24日は真庭市蒜山の民家において60代の女性が屋根の下で雪に埋もれて死亡し、28日は同地区で倉庫の屋根上で雪下ろしをしていた60代男性が、倉庫横の水路に落ち死亡した。また、同地区で除雪中の転倒や屋根からの落雪により3名の重傷者があった他、美作市、西粟倉村では車や電車で足止めされた2名が体調不良で救急搬送された。真庭市では住家の一部が損壊した他、非住家被害（車庫等）も5件あった。交通機関では23日から28日までJR因美線の美作加茂駅 - 智頭駅（鳥取県）間で終日運転を取り止め、24日はJR姫新線の中国勝山駅 - 新見駅間でも終日運転を取り止めた他、JR伯備線の新郷駅ではレール内のポイント不転換があり、併せて運休104本、遅延106本が発生した。また、米子自動車道の湯原IC - 米子IC（鳥取県）間で通行止めとなった。
2月9日～12日	大雪	中国地方は上空約5,000メートルに氷点下39度以下の寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となったため、9日夜から12日にかけて北部を中心に大雪となった。	2月9日22時50分頃、高梁市有漢町で雪かきをしていた人が転倒して負傷した他、10日から11日にかけて真庭市、新見市、美作市で歩行中の転倒や除雪中の事故、車のスリップ事故により、併せて6人が重軽傷を負った。また、真庭市黒田では約100世帯が停電したが同日9時30分に復旧した。 （交通障害等） ・10日7時までの24時間に積雪や路面凍結が原因とみられる物損事故が県北部中心に21件発生し、11日7時までの24時間に物損事故が13件発生。 ・真庭市蒜山の国道482号で法面の雪が崩れ、10日7時30分から約5時間30分、全面通行止め。 ・鏡野町の国道179号や津山市の県道では一時、車両数十台が立ち往生。米子自動車道久世 米子インターチェンジ間は9日深夜からと10日夜から計15時間以上、上下線が通行止め。 ・JR因美線の美作加茂駅 - 智頭駅（鳥取県）間では10日始発から13日にかけて、JR芸備線の新見駅 - 備後落合駅（広島県）間では12日、列車の運転を見合わせ、併せて運休64本、遅延12本が発生。 ・10日は新見市、真庭市など9市町村の小中高校計49校で臨時休校や授業を途中で打ち切る措置を取った。
2月12日	強風	中国地方は上空約5,500メートルに氷点下33度以下の寒気が流れ込み、冬型の気圧配置となっていた。目撃者からの通報では「竜巻のようなものがあり、南に移動した」との証言があった。このため、13日に岡山地方気象台は職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を行った結果、現象の特定に結びつく被害や痕跡の分布、目撃情報や証言が得られず、突風をもたらした現象は特定に至らなかった。また、風速を評定する十分な根拠も得られなかった。	12日14時20分頃、倉敷市消防署より倉敷市粒浦地区で民家のカーポート（6本支柱）の屋根（半透明のプラスチック素材のようなもの）が飛ばされ、電柱に引っかかったとの連絡が気象台に入った。
4月8日	濃霧	中国地方に停滞する前線に向かって湿った空気が流入し、海上を中心に局地的に濃霧が発生した。	8日朝から局地的に発生した濃霧により、岡山県と香川県を結ぶフェリー（宇野港 - 宮浦港で5便、新岡山港 - 土庄港で3便、宇野港 - 高松港で4便）併せて12便、笠岡港と笠岡諸島を結ぶ普通船1便が欠航した。
4月15日	その他(風)	中国地方は上空の寒気と南からの暖かく湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、岡山県では局地的に雷雲が発生し、雷雲の通過に伴い倉敷市で突風が吹いた。このため、16日に岡山地方気象台は職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し現地調査を行った結果、この突風をもたらした現象は、この突風をもたらした現象は、ダウンバーストまたはガストフロントの可能性はあるものの特定に至らなかった。また、この突風の強さは風速約35m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当する。	15日15時過ぎ、倉敷市福田町浦田で民家7件の屋根瓦が捲れるなどしたほか、カーポート3件、ビニールハウス1件、鉄骨小屋1件、物置1件に被害が発生した。
5月1日～9月30日	高温(長期)	7月から8月を中心に高気圧に覆われることが多く、晴れて気温が上昇した。なお、岡山における猛暑日の日数は、7月が1日、8月が8日となった。	5月1日から9月30日までの5ヶ月間で、熱中症と見られる症状により緊急搬送された患者は1,288名に達した（県消防保安課調べ）。患者のうち7月19日には井原市で101歳の男性が、同月24日は倉敷市真備町で80代の女性が心配停止の状態で見送られ、救急搬送されたものの死亡が確認された。この他倉敷市で80代の女性が熱中症と見られる症状で病院に搬送されたが亡くなった（緊急搬送数に含まれる）。

## 平成29年(2017年)の主な気象災害(2)

期日・期間	現象名	気象概況	被害状況
6月1日	雷	気圧の谷や上空の寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、夕方から夜遅くにかけて局地的に雷を伴う強雨となった。	午後10時40分頃、矢掛町の民家に落雷があり1棟が全焼した他、落雷により倉敷市で約2,200戸、真庭市で約760戸、岡山市で約20戸で停電が発生した。
6月29日～30日	大雨 強雨 雷	西日本に停滞する梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が入り、梅雨前線の活動が活発となったため、29日夜から30日朝にかけて雷を伴う大雨となった。	大雨により、高梁市では県道に落石があった他、市道で路面陥没が1件発生した。岡山市北区では用水が満杯となり道路冠水が相次ぎ(件数不明)、住宅兼店舗1棟にも浸水した。交通機関ではJR伯備線、津山線、姫新線で降雨による規制のため運転を見合わせ、併せて遅延11本が発生した。JR赤穂線では伊部駅-香登駅間で線路内に倒木(雨による)が見つかり運転を見合わせたため、運休18本、遅延24本が発生した。また、落雷により倉敷市で約530戸が停電となった。この他、井原市、笠岡市、矢掛町の小中高校と支援学校の計21校で臨時休校となった。
7月4日～5日	大雨 強雨 波浪	台風第3号が4日朝から夕方にかけて、九州、四国、近畿を横断した後、山陰沖の梅雨前線が5日夕方にかけて瀬戸内付近まで南下したため、岡山県では大気の状態が不安定となり局地的に激しい雨が降り、南部を中心に大雨となった。	大雨により、4日は吉備中央町で民家の裏山が崩れ、5日は笠岡市で池の法面が崩れ市道を塞ぎ全面通行止めとなり、美作市では国道沿いで落石があった。里庄町では床下浸水1棟が発生し、笠岡市では有田川の越水により道路が冠水するなど2ヶ所で全面通行止めとなった。また、交通機関では、4日13時17分頃、JR因美線の高野駅-智頭駅(鳥取県)間で降雨による規制のため運転を見合わせ、JR伯備線では倒竹による架線支障があった。5日はJR因美線の高野駅-智頭駅(鳥取県)間とJR山陽線の里庄駅-松永駅(広島県)間で降雨による規制のため運転を見合わせ、2日間併せて運休74本、遅延72本が発生した。海上では4日台風の影響により、笠岡港と白石島を結ぶフェリー6便が欠航した。
7月8日～9日	大雨 強雨 雷	8日から9日にかけて、西日本に停滞する梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が入り、岡山県では大気の状態が不安定となり局地的に雷を伴った激しい雨が降り、大雨となった。	大雨により、8日は新見市で市道沿いの土砂崩れにより全面通行止めとなった。9日は高梁市、岡山市北区で崩土や落石で道路の通行止めが8件あった他、倉敷市で床下浸水(工場内に浸水)1棟や岡山市中区で道路冠水があった。この他、雨量規制により岡山市北区、東区で道路通行止めが3件あった。交通機関では、8日16時36分頃、JR姫新線の美作追分駅-久世駅間で降雨による規制のため運転を見合わせ、遅れが発生し、JR芸備線、津山線でも遅れが発生した。また、JR姫新線、伯備線では落雷により踏切保安設備が故障し遅れが発生し、2日間併せて遅延38本が発生した。倉敷市では9日夕方、電柱への落雷により約1,800戸が停電した。
7月24日～25日	大雨 強雨	24日から25日にかけて、山陰沖に停滞する前線に向かって暖かく湿った空気が入り、岡山県では大気の状態が非常に不安定となり局地的に非常に激しい雨が降り、大雨となった。	大雨により、24日は美咲町で県道沿いの土砂崩れにより全面通行止めとなった。25日は津山市、美咲町で道路沿いの土砂が崩れた他、津山市南方中では側溝の水が溢れ住家1棟が床下浸水となり、同市押入では市道が冠水して一時通行止めとなった。また、交通機関では24日17時30分頃、JR因美線の高野駅-東津山駅間とJR姫新線の美作大崎駅-院庄駅間で、JR津山線は建部駅-神目駅間で降雨による規制のため運転を見合わせ、25日も同線区内で降雨による規制のため運転を見合わせ、2日間併せて運休34本、遅延58本が発生した。
7月27日～29日	強雨	27日から29日にかけて、湿った空気や日射の影響で午後は大気の状態が不安定となり、局地的に激しい雨が降った。	強雨により、JR各線で降雨による規制により運転を見合わせた。27日はJR姫新線の岩山駅-新見駅間、JR伯備線の石蟹駅-備中神代駅間、28日はJR伯備線の備中川面駅-広石信号所間、JR津山線の建部駅-神目駅間、JR姫新線の上月駅(兵庫県)-林野駅間、29日はJR伯備線の日羽駅-広石信号所間で、3日間併せて運休14本、遅延91本が発生した。また、28日18時頃、高梁市の県道沿いで崩土が1ヶ所あった。
7月31日	強雨	湿った空気や日射の影響で午後は大気の状態が非常に不安定となり、局地的に非常に激しい雨が降った。	強雨により、高梁市の市道で崩土があり全面通行止めとなった。交通機関ではJR芸備線の野馳駅-内名駅(広島県)間、JR伯備線の備中広瀬駅-備中川面駅間で降雨による規制により運転を見合わせ、併せて運休2本、遅延57本が発生した。
8月6日～8日	強雨 強風 波浪	台風第5号は九州の南から四国の太平洋沿岸部を比較的ゆっくりとした速さで東北東進し、7日15時30分頃、和歌山県北部に上陸した。その後、ゆっくりと近畿地方を縦断し、日本海へと進んだ。このため、岡山県では6日夜から7日にかけて南部を中心に強風となり、7日日中は局地的に激しい雨が降った。	強雨により、倉敷市でアンダーパスが冠水し全面通行止めとなり、鏡野町では路肩が崩れる被害があった。また同市町で強風による倒木で道路が一時全面通行止めとなった他、笠岡市では3207戸で倒木による停電が発生した。交通機関ではJR瀬戸大橋線が7日始発から午後6時まで瀬戸大橋を通る列車の運転を見合わせた他、JR岡山支社管轄の2路線(伯備線、姫新線)で降雨による運転規制で運転を見合わせ、併せて運休16本、遅延38本が発生した。岡山空港では岡山発着の上海、ソウル、札幌便の計5便が欠航し、海上交通では県内と四国や瀬戸内海の島々を結ぶ定期船が欠航した。高速道路では瀬戸中央自動車道の児島インター-坂出インター(香川県)間で午前9時半から午後3時まで全面通行止めとなった。

## 平成29年(2017年)の主な気象災害(3)

期日・期間	現象名	気象概況	被害状況
8月16日～17日	強雨	岡山県では気圧の谷や湿った空気、日射の影響も加わり大気の状態が非常に不安定となり、局地的に非常に激しい雨が降った。	強雨により、美咲町西川上で土砂崩れにより住宅1棟が全壊、1棟が半壊となった他、裏山からの水により住宅1棟が床上浸水した。また県道や町道で土砂崩れが4ヶ所で発生し、3ヶ所は全面通行止めとなった。この他、JR姫新線の美作追分駅 - 久世駅間で降雨による運転規制のため運転を見合わせ、列車11本に遅延が発生した。 16日21時30分美咲町災害対策本部設置 17日00時30分美咲町西川上の一部に避難勧告発令
9月12日	強雨	日本海の低気圧から延びる寒冷前線に向かって暖かく湿った空気が流入し、大気の状態が不安定となり、岡山県では12日未明から明け方を中心に局地的に激しい雨が降った。	強雨により、JR山陽線の金光駅 - 松永駅（広島県）間で運休77本、遅延93本が発生した。また、JR伯備線の備中川面駅 - 方谷駅間で強雨による倒木が電源設備を損傷させたため、運休44本、遅延61本が発生した。
9月17日～18日	強風 大雨 強雨 波浪	台風第18号は、九州の南西の海上を東北東へ進み、17日11時半頃に鹿児島県南九州市付近に上陸した。その後、豊後水道を北東へ進み、17時頃に高知県宿毛市付近に上陸、22時頃には兵庫県明石市付近に上陸し近畿地方を縦断した後、日本海へ進んだ。このため、岡山県では17日昼過ぎから18日未明にかけて暴風となり、17日夕方から夜遅くまで局地的に非常に激しい雨が降った。	暴風により浅口市寄島町で80歳代女性が自宅前で風に飛ばされ頭部に軽傷を負った他、玉野市では住家の屋根が破損し、交通機関ではJRの在来線10線（茶屋町駅 - 児島駅間の瀬戸大橋線含む）が17日昼前から18日にかけて順次運転を見合わせ、のべ運休850本、遅延263本が発生した。岡山空港では岡山発着の国内線、国際線併せて15便が欠航し、海上交通では県内と四国や瀬戸内海の島々を結ぶ定期船が欠航した。高速道路では瀬戸中央自動車道の児島インター - 坂出インター（香川県）間で17日午後1時50分から18日午前3時10分まで全面通行止めとなった。大雨による被害では玉野市・瀬戸内市他3市で住家の床上浸水が65棟あり、両市他9市町で床下浸水が604棟あった他、道路冠水12ヶ所があった。この他、県・市町村管理施設76ヶ所で道路法面崩壊や河川護岸崩壊等が発生し、美作市では道路沿いの崩土で全面通行止めが2ヶ所あり、山陽自動車道では一部区間で通行止めになるなど、道路に関する全面通行止めは併せて44ヶ所に上った。停電は約6,100戸が発生した。公共土木施設の被害は180件で約7億550万円に上り、農林水産関係の被害は約8億7千万円に上った。
10月22日～23日	強風 大雨 波浪	台風第21号は日本の南海上を北北東に進み、超大型で強い勢力を保ったまま、23日03時頃に静岡県御前崎市付近に上陸した。このため、岡山県では22日昼過ぎから23日明け方にかけて北よりの風が強くなり、奈義町を中心とした地域では広戸風が発生し、22日夜から23日未明にかけて猛烈な風が吹いた。また、台風第21号の北上に伴い、本州南岸の前線の活動が活発となり、大雨となった。	広戸風により、津山市、奈義町で住家の屋根が飛ばされるなどの被害が4棟発生した他、非住家の一部損壊が10件発生した。真庭市、倉敷市でも強風により住家被害が3棟あった。大雨による被害では、真庭市で民家横の水路が溢れ床下浸水1棟、鏡野町でも床下浸水1棟が発生した他、玉野市で裏山が崩れ住家の一部が損壊した。また、道路沿いの崩土や路肩崩壊、道路損壊の被害により7ヶ所で全面通行止めとなった。交通機関ではJR因美線、伯備線、姫新線、芸備線、津山線、山陽線で風や雨による運転規制で併せて運休139本、遅延193本が発生した他、高速道では米子自動車の一部区間で通行止めがあった。海上では笠岡港と笠岡諸島を結ぶ定期船18便が22日午後から23日朝にかけて欠航し、岡山空港では上海、台北、札幌、東京便の計5便が欠航した。停電はのべ約26,900戸が発生した。11月10日現在の最終被害額は、農業関係でおよそ3億5千6百万円、土木関係はおよそ5億7百万円に上った。